

激励の言葉（6/12 激励会）

私自身の経験から、みなさんに、「アドバイス」ができればと、3つの言葉を送ります。

吹奏楽や美術のみなさんは、自分の取り組んでいる活動に置き換えて聞いてください。

さて、みなさんに聞いてみます。次の3つの質問うちどれかに手を挙げてください。①これまで血のにじむような努力をしてきたと言える人、②自分なりに頑張ってきたという人、③やらなければいけないこと、出されたメニューには取り組んできたという人。（目をつむって、手を挙げる。その結果を見て話す。）

さて、たくさん努力をしてきたけど、プレッシャーがあり、心配だと言う人、血のにじむような努力をしてきたからこそ、結果に対して不安な気持ちがある人には、「**人事を尽くして天命を待て**」という言葉を送ります。後で、一番悔しいことは、負けることではありません。「自分の力を発揮できない。」ことです。

まずは、自分の力を出し切る、結果は後からついてくる。そんな気持ちで勝負に挑んでください。それができれば、たとえ負けても、次に向かう力が出てきます。勝敗を意識せずベストを尽くすことのみに集中です。

さて、2つめの言葉は、「**わくわくして楽しむ**」という言葉です。これは、どんなタイプの人にも通じる言葉です。

みなさんドラゴンボールとその主人公を知っていますか？アニメですが、なぜ人気があり、人々の心をつかむのか？そこには、リアルに勝るとも劣らない心の動きがあるからです。

孫悟空は、強い相手に怯え弱気を見せるのではなく、「おめえ強ええな！オラわくわくずっぞ！」といつも言います。相手が強いとき、「どうしよう！負ける！」じゃなく、「おめえ強ええな！オラわくわくずっぞ！」と唱えて戦いに挑んでみてください。不安で押しつぶされることは無くなると思います。また、勝ち負けにこだわらず、その勝負自体を素晴らしい経験として楽しんでみてください。

3つ目は、「**勝利への執念**」です。勝負を楽しみ、自分の力が発揮でき、いよいよ雌雄を決するところまで来た時、勝敗を左右するのは、「最後、絶対に勝つ！」「絶対に負けない！」という、勝負への執念です。本校の校訓である「不撓不屈の精神」です。勝負どころでは、この「絶対に負けない！」という執念、気持ちを出してください。

さて、3つの言葉を送りましたが、大会では、それぞれの自分の思いに合った言葉を思い出し、時には、そのときの精神状態に合わせて唱えて頑張ってみてください。みなさんの健闘を祈ります。